



カウントダウンを合図に一齐にスタートするランナーたち=30日午前9時

# 北海道新聞

発行所

北海道新聞社

郵便番号 060-8711

札幌市中央区大通西3-6

電話 011(221)2111

©北海道新聞社 2015

# 号外

インターネットで道新ニュース  
dd.hokkaido-np.co.jp

ご購入申し込みは  
0120-464-104

# 1万9千人 道都疾走



男子トップでゴールする藤原新選手



女子優勝の岡田唯選手

## 男子藤原、女子岡田V

### 2015北海道マラソン

夏の札幌を駆け抜ける2015北海道マラソン(道陸協、北海道新聞社などで行く組織委員会主催)が8月30日、札幌市中央区の大通公園を発着するコースで行われた。男子は藤原新(ミキハウス)が2時間16分49

秒で、女子は岡田唯(大塚製薬)が2時間32分10秒でそれぞれ優勝した。北海道マラソンは、真夏に行われる国内唯一の本格的なフルマラソン。29回目となる今大会は、フルマラソンの定員を昨年より2千人増の1万5千人に拡大。都心部11.5キロのファンランを合わせて1万9千人超が全国からエントリーした。今大会は来年のリオパラリンピックのマラソン男女視覚障害者クラスの代表

選考レースを兼ねるほか、「はまなす車いすマラソン」が初めて同時開催された。スタート時の天候は晴れ、気温21・2度、湿度59%。さっぽろテレビ塔の電光時計によるカウントダウンと号砲を合図に、ランナーたちが一齐にスタート。沿道を埋めた市民らの声援や拍手を受け、ゴールを目指して北の大地を疾走した。

# 歴代優勝者

第1回(1987年)	<男子>フォードル・リジョフ (旧ソ連)	2時間24分28秒
	<女子>ルイッツヤ・ベリヤエバ (旧ソ連)	2時間42分17秒
第2回(1988年)	<男子>西 政幸 (旭化成)	2時間17分11秒
	<女子>ジェーン・ウェルゼル (米国)	2時間40分53秒
第3回(1989年)	<男子>谷口 浩美 (旭化成)	2時間13分16秒
	<女子>ローレン・モラー (ニュージーランド)	2時間36分39秒
第4回(1990年)	<男子>篠原 太 (神戸製鋼)	2時間15分32秒
	<女子>リサ・ワイデンバック (米国)	2時間31分29秒
第5回(1991年)	<男子>藤田 幸一 (沖電気宮崎)	2時間17分5秒
	<女子>ローレン・モラー (ニュージーランド)	2時間33分20秒
第6回(1992年)	<男子>マイケル・スカウト (南アフリカ)	2時間16分38秒
	<女子>オルガ・アペル (メキシコ)	2時間30分22秒
第7回(1993年)	<男子>タデッセ・ゲブレ (テクモ)	2時間15分34秒
	<女子>藤村 信子 (ダイハツ)	2時間33分10秒
第8回(1994年)	<男子>エリック・ワイナイナ (コニカ)	2時間15分3秒
	<女子>オルガ・アペル (米国)	2時間36分33秒
第9回(1995年)	<男子>タデッセ・ゲブレ (テクモ)	2時間15分7秒
	<女子>有森 裕子 (リクルート)	2時間29分17秒
第10回(1996年)	<男子>ブルック・ベケレ (テクモ)	2時間14分26秒
	<女子>安部 友恵 (旭化成)	2時間31分21秒
第11回(1997年)	<男子>エリック・ワイナイナ (コニカ)	2時間13分45秒
	<女子>小倉 千洋 (和光証券)	2時間33分30秒
第12回(1998年)	<男子>アンベッセ・トロッサ (テクモ)	2時間10分13秒
	<女子>山口 衛里 (天満屋)	2時間27分36秒
第13回(1999年)	<男子>松本 政大 (NTT西日本)	2時間12分8秒
	<女子>松尾 和美 (天満屋)	2時間32分14秒
第14回(2000年)	<男子>ディオニシオ・セロン (メキシコ)	2時間17分14秒
	<女子>市河麻由美 (三井海上)	2時間32分30秒
第15回(2001年)	<男子>佐々 勤 (旭化成)	2時間13分45秒
	<女子>千葉 真子 (佐倉アスリート倶楽部)	2時間30分39秒
第16回(2002年)	<男子>サムソン・カンディエ (ケニア)	2時間15分12秒
	<女子>堀江 知佳 (積水化学)	2時間26分11秒
第17回(2003年)	<男子>エリック・ワイナイナ (コニカミノルタ)	2時間13分13秒
	<女子>田中 千洋 (トクセン工業)	2時間34分11秒
第18回(2004年)	<男子>ラバン・カギカ (JFE)	2時間12分20秒
	<女子>千葉 真子 (豊田自動織機)	2時間26分50秒
第19回(2005年)	<男子>渡辺 共則 (旭化成)	2時間14分50秒
	<女子>千葉 真子 (豊田自動織機)	2時間25分46秒
第20回(2006年)	<男子>渡辺 共則 (旭化成)	2時間17分50秒
	<女子>吉田 香織 (資生堂)	2時間32分52秒
第21回(2007年)	<男子>ジュリアス・ギタヒ (日清食品)	2時間17分26秒
	<女子>加納 由理 (セカンドウィンドAC)	2時間30分43秒
第22回(2008年)	<男子>高見沢 勝 (佐久長聖教員クラブ)	2時間12分10秒
	<女子>佐伯由香里 (アルゼアスリートクラブ)	2時間31分50秒
第23回(2009年)	<男子>ダニエル・ジェンガ (ヤクルト)	2時間12分3秒
	<女子>嶋原 清子 (セカンドウィンドAC)	2時間25分10秒
第24回(2010年)	<男子>サイラス・ジュイ (日立電線)	2時間11分22秒
	<女子>原裕美子 (ユニバーサルエンターテインメント)	2時間34分12秒
第25回(2011年)	<男子>アルン・ジョロゲ (小森コーポレーション)	2時間14分10秒
	<女子>森本 友 (天満屋)	2時間33分45秒
第26回(2012年)	<男子>川内 優輝 (埼玉県庁)	2時間18分38秒
	<女子>吉住 友里 (大阪長居AC)	2時間39分7秒
第27回(2013年)	<男子>五力谷宏司 (JR東日本)	2時間14分26秒
	<女子>渡辺 裕子 (エディオン)	2時間29分13秒
第28回(2014年)	<男子>辻 茂樹 (大塚製菓)	2時間15分24秒
	<女子>野尻あずさ (ヒラツカ・リース)	2時間30分26秒

※87、88は厚別競技場～宮の沢1-1折り返しで実施。89～98は真駒内屋外競技場～中島公園で実施。99～11は中島公園東側(豊水通)～大通公園西8丁目で実施。12からは大通公園西4丁目(駅前通)～大通公園西8丁目で実施。

# 新人賞

第15回(2001年)	<男子>水口 紀幸 (大塚製菓)	2時間25分28秒
	<女子>藤本 絵美 (資生堂)	2時間42分40秒
第16回(2002年)	<男子>山本 佑樹 (旭化成)	2時間15分17秒
	<女子>堀江 知佳 (積水化学)	2時間26分11秒
第17回(2003年)	<男子>中崎 幸伸 (トヨタ九州)	2時間13分26秒
	<女子>野畑 麻衣 (サニックス)	2時間39分49秒
第18回(2004年)	<男子>北川 敬大 (大塚製菓)	2時間14分48秒
	<女子>根来 亜紀 (北国銀行)	2時間37分51秒
第19回(2005年)	<男子>ムツリ・カリウキ (九電工)	2時間16分9秒
	<女子>渡辺 芳子 (積水化学)	2時間43分17秒
第20回(2006年)	<男子>久保田 満 (旭化成)	2時間17分52秒
	<女子>吉田 香織 (資生堂)	2時間32分52秒
第21回(2007年)	<男子>中尾 勇生 (トヨタ紡織)	2時間23分29秒
	<女子>重田 明穂 (旭化成)	2時間42分19秒
第22回(2008年)	<男子>中本 健太郎 (安川電機)	2時間15分21秒
	<女子>佐伯 由香里 (アルゼ)	2時間31分50秒
第23回(2009年)	<男子>山本 亮 (佐川急便)	2時間12分10秒
	<女子>谷 奈美 (アルゼ)	2時間33分59秒
第24回(2010年)	<男子>サイラス・ジュイ (日立電線)	2時間11分22秒
	<女子>岡本 美鈴 (北国銀行)	2時間48分14秒
第25回(2011年)	<男子>福山 真魚 (九電工)	2時間22分26秒
	<女子>古瀬 麻美 (京セラ)	2時間36分55秒
第26回(2012年)	<男子>一花 建 (石川陸協)	2時間25分27秒
	<女子>田端 沙紀 (大塚製菓)	2時間50分14秒
第27回(2013年)	<男子>飯田 明德 (Honda)	2時間15分20秒
	<女子>渡辺 裕子 (エディオン)	2時間29分13秒
第28回(2014年)	<男子>篠崎 昌道 (日立物流)	2時間17分22秒
	<女子>天児 芽実 (キヤノンAC九州)	2時間37分42秒

※新人賞は、2001年の第15回大会に設立。25歳以下でフルマラソン3回以下の選手を対象に表彰。2013年の世界陸上(モスクワ)5位入賞の中本健太郎は2008年に受賞している。



# 昨年の覇者



2014年男子優勝の辻茂樹(大塚製菓) = 右 = と女子優勝の野尻あずさ(ヒラツカ・リース) = 左 =。今年の栄冠は誰の頭上に?

# 詳細は明日の北海道新聞・道新スポーツをご覧ください

## 女子 大会記録保持者 男子



女子

嶋原 清子  
(セカンドウィンドAC)

2009年(第23回)  
2時間25分10秒

スタート
16分54秒
33分28秒
50分21秒
1時間7分19秒
1時間11分2秒
1時間24分25秒
1時間42分1秒
1時間59分43秒
2時間17分24秒
2時間25分10秒
フィニッシュ



男子

アンベッセ・トロッサ  
(テクモ)

1998年(第12回)  
2時間10分13秒

15分38秒
30分54秒
46分40秒
1時間2分2秒
1時間5分32秒
1時間17分55秒
1時間33分20秒
1時間48分15秒
2時間3分34秒
2時間10分13秒

# 大会記録通過時間

## 北海道マラソン 交通遺児チャリティー募金のお知らせ

北海道マラソンはこれまで、全国の市民ランナーのご支援をいただき「北の都・札幌」の公道で開催してきた大会として、不幸にも同じ公道で事故に遭われたご家族などを励ます目的で「交通遺児チャリティー募金」を実施しています。

本大会参加料の一部と、コース沿道などで応援されている皆さまへ募金活動を行い、北海道交通遺児の会へ寄付させていただきます。

チャリティーを通じた交通安全の啓蒙普及と交通事故防止の呼びかけに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

チャリティー募金口座(2015年9月6日締め切り)  
 ◎北洋銀行 普通 1830043 ◎郵便振替 02720-1-56038  
 ◎ゆうちょ銀行 当座 0056038  
 ◎口座名(いずれも)北海道マラソンチャリティー事務局  
 <<お問い合わせ>>  
 北海道マラソン事務局  
 〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6  
 北海道新聞社事業センター内  
 ☎011-232-0840  
 (平日の午前10時～午後5時)